

反社会的勢力排除に関する誓約書

令和 年 月 日

物流効率化に向けた先進的な実証事業事務局 殿

郵便番号、本社所在地
事業者名
代表者の役職、氏名

令和5年度補正予算「物流効率化先進的実証等事業費補助金（自動配送ロボット導入促進実証事業）」に応募するにあたり、下記事項を遵守することを誓約いたします。

なお、これに違反もしくは相違のあった場合には、当該申請に係る交付決定の取消し、補助金の返納等の処置が行われても、一切の異議の申し立てをいたしません。

記

当社（個人である場合は私、団体である場合は当団体）は、本補助金に応募するに当たって、以下のいずれの項目にも該当しないことを誓約いたします。なお、この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

- (1) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「暴力団対策法」という。）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）
- (2) 暴力団員（暴力団対策法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）
- (3) 暴力団準構成員（暴力団員以外の暴力団と関係を有する者であって、暴力団の威力を背景に暴力的不法行為等を行うおそれがあるもの又は暴力団若しくは暴力団員に対し資金、武器等の供給を行うなど暴力団の維持若しくは運営に協力し、若しくは関与するものをいう。以下同じ。）
- (4) 暴力団関係企業（暴力団員が実質的にその経営に関与している企業、暴力団準構成員若しくは元暴力団員が経営する企業で暴力団に資金提供を行う等暴力団の維持若しくは運営に積極的に協力し若しくは関与するもの又は業務の遂行等において積極的に暴力団を利用し、暴力団の維持若しくは運営に協力している企業をいう。）
- (5) 総会屋等（総会屋その他企業を対象に不正な利益を求めて暴力的不法行為等を行うおそれがあり、市民生活の安全に脅威を与える者をいう。）
- (6) 社会運動等標ぼうゴロ（社会運動若しくは政治活動を仮装し、又は標ぼうして、不正な利益を求めて暴力的不法行為等を行うおそれがあり、市民生活の安全に脅威を与える者をいう。）
- (7) 特殊知能暴力集団等（暴力団との関係を背景に、その威力を用い、又は暴力団と資金的な繋がりを有し、構造的な不正の中核となっている集団又は個人をいう。）
- (8) 前各号に掲げる者と次のいずれかに該当する関係にある者
イ前各号に掲げる者が自己の事業又は自社の経営を支配していると認められること。
ロ前各号に掲げる者が自己の事業又は自社の経営に実質的に関与していると認められること。
ハ自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって

- 前各号に掲げる者を利用したと認められること。
- ニ前各号に掲げる者に資金等を提供し、又は便宜を供与するなどの関与をしていると認められること。
- ホその他前各号に掲げる者と役員又は経営に実質的に関与している者が、社会的に非難されるべき関係にあると認められること。

以上